



## Editor's Note

『マンガで学ぶ 大倉邦彦物語』はいかがでしたか？この本を読んで、大倉邦彦のこと、研究所のこと、大倉山記念館のこと、少しでも興味をもつてもらえたなら嬉しいです。

邦彦は、人は「信仰心」を持つことが大事だと説きました。

ここで言う信仰心は特定の宗教を信じることではありません。私たち自身一人だけで生まれて、大人になるのではなく、家族や友達をはじめ、さまざまな存在によって生かされています。邦彦のいう信仰心は、そのように自分を生かしてくれる存在に

対して感謝することです。この本が何気ない日常や、身の回りの人の存在に思いを致すきっかけになれば、邦彦もきっと喜ぶでしょう。そしてこの本もまた、さまざまな人の存在があつて、みなさんのお手元に届けることができました。

大倉邦彦の89年にわたる長い生涯を限られたページ数でどう伝えるか、苦心していた中でマンガの土台となるシナリオをご担当いただいた古屋さん、邦彦の少年時代から晩年までを、親しみやすい絵柄で魅力あふれるマンガに描いて下さった桑田さん。

そして全体のデザインとレイアウトをご担当いただき、次から次へと出てくる制作上の無理難題全てに応えて下さった正美堂の平野さん、平野さんがいなかつたら、この本の完成は有り得なかつたでしょう。お三方には厳しいスケジュールの中、多大なご負担をおかけいたしました。右も左もわからない手探り状態でのマンガ制作の大変さは、想像を遥かに超えるものでしたが、研究所内外の多くの方にご協力をいただき、お陰様で本当によい本が出来たと思います。この場をお借りして、みなさまに篤くお礼申し上げます。

今年2021（令和3）年は大倉邦彦の没後50年、来年2022（令和4）年は邦彦の生誕140年と大倉精神文化研究所創立90年にあたります。これら節目に際して、大倉邦彦のことを多くの人に知つてほしい、大倉邦彦の想いを届けたい、その願いを込めて『マンガで学ぶ 大倉邦彦物語』をつくりました。



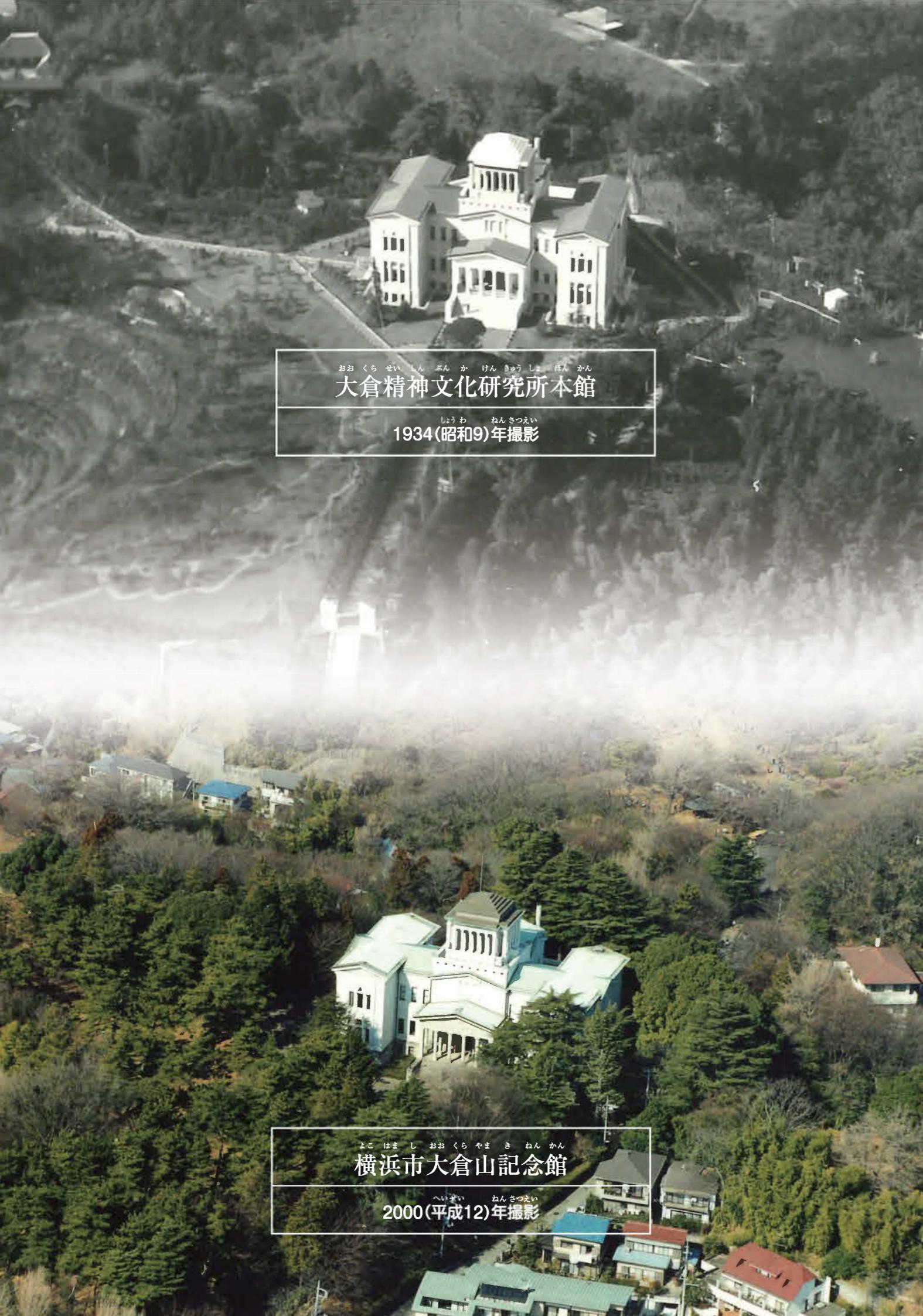
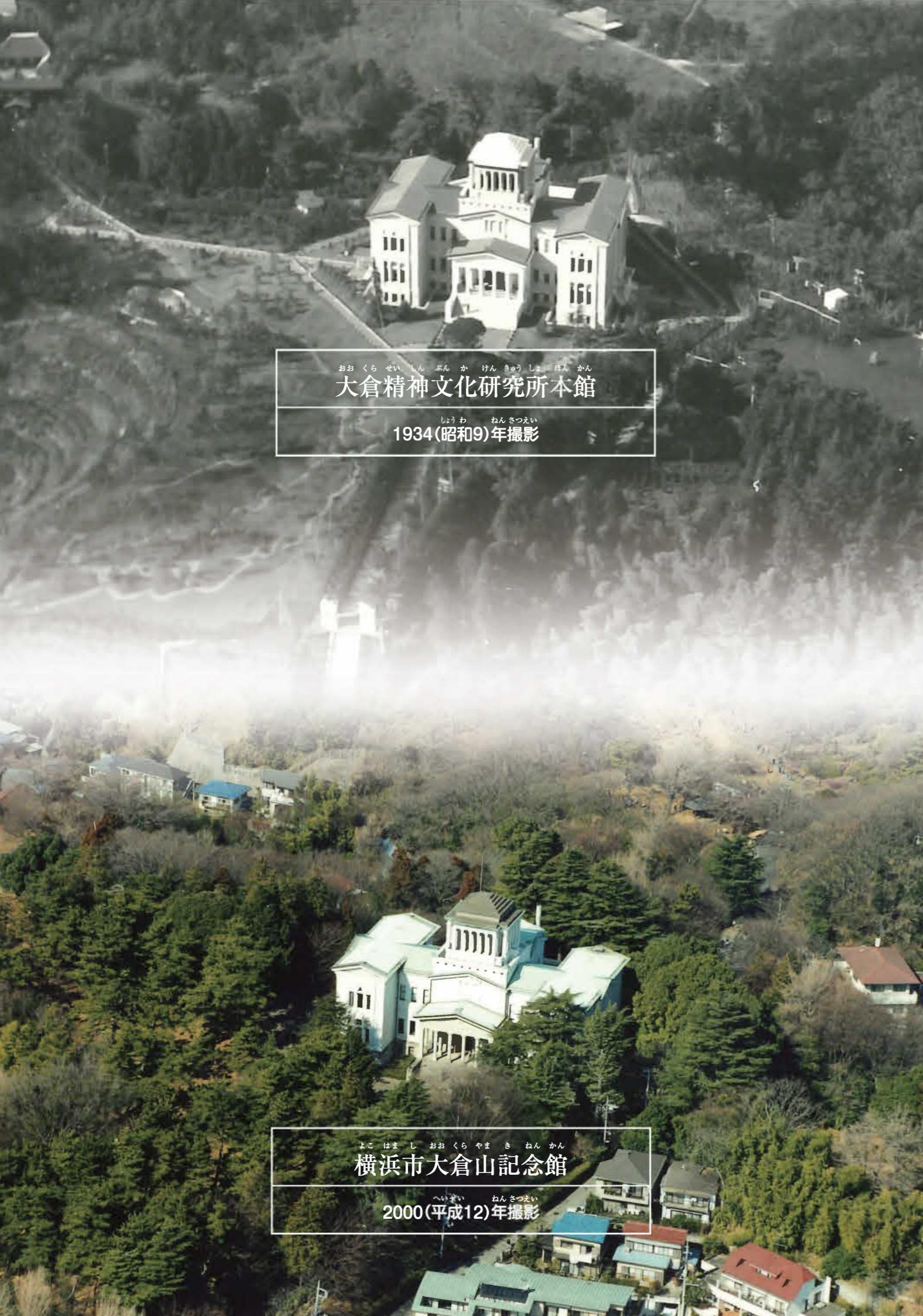
しかしながら、厚さ1センチにも満たないこの本では伝えきれなかつたこともたくさんあります。大倉邦彦について、もつともと知りたいと思つていただいた方、マンガでもお伝えしたとおり、大倉精神文化研究所は邦彦の想いを受け継いで、大倉山記念館の中でも活動を続けています。参考文献リストで紹介した本は研究所の附属図書館や、邦彦の故郷にある神埼市立図書館などで読むことができます。ぜひ足を運んでください。

最後になりますが、この本をお読みいただいたみなさまに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

2021（令和3）年7月25日  
大倉邦彦の五〇回忌に寄せて

公益財団法人大倉精神文化研究所  
図書館運営部長 林 宏美





【写真提供】(五十音順)

愛知大学東亜同文書院大学記念センター  
神埼市教育委員会  
神埼情報館  
国立国会図書館  
佐賀県立図書館  
公益財団法人 下中記念財団  
有限会社 正美堂  
日本女子大学成瀬記念館  
一橋大学学園史資料室  
ヨーロピアーナ(Europeana)  
横浜市大倉山記念館

【協力者】(五十音順)

伊香賀隆  
江原邦興  
奥田由香  
北村厚介  
斎藤洋子  
関口真理  
古畑侑亮  
吉田舞衣

まなぶ  
マンガで学ぶ  
おおくらくにひこ  
大倉邦彦  
ものがたり  
物語  
しゃかい つじつせんきょうこうひと  
社会のために尽くした実践躬行の人



2021(令和3)年7月25日 発行

シナリオ 古屋俊一  
イラスト 桑田俊昭  
デザイン 平野裕晶  
監修 林宏美 平井誠二 星原大輔  
編集発行 公益財団法人大倉精神文化研究所

〒222-0037 神奈川県横浜市港北区大倉山2-10-1  
電話 045-542-0050

Eメール okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp  
URL <https://www.okuraken.or.jp/>

印刷製本 有限会社正美堂  
〒245-0002 神奈川県横浜市泉区緑園7-6-5ゼフィールB棟206  
電話 045-392-9170



---

マンガで  
学ぶ

# 大倉邦彦物語

---

公益財団法人 大倉精神文化研究所

*Okura Kuniyiko's Story*